時代に合わせて変化

埼玉産業人クラブ

多彩な顔ぶれそろう

埼玉産業人クラブ（増田文治会長＝マスダック社長）は１９６４年に発足した異業種交流会の先駆け的存在。40年以上にわたる活動の中で、企業間のみならず行政、大学、金融機関などとも連携を深め、埼玉県産業に密着した情報共有網を培ってきた。

住田正利前会長の死去を受け、10年４月に増田マスダック社長が第８代会長に就任。「今までお世話になった埼玉県の産業界に恩返しをしたい」と意気込みを示した。大胆な改革で自社を成功に導いてきた若き新会長の手腕に期待が集まっている。

◇　◇

埼玉産業人クラブによる代表的な催しが、毎年10月に開く埼玉県産業振興懇談会（通称＝知事懇）だ。会の第１部では、県で産業施策に携わる幹部数人が登壇。これに対し、経営者側が質問を投げかける。行政による技術開発支援や環境対策、企業立地などについて、毎回双方が率直な意見をぶつけ合っている。

続く第２部は、埼玉県知事と県内有力経営者との公開討論会となる。昨年10月の第32回知事懇では、増田会長と川金ホールディングスの鈴木信吉社長が討論に参加。上田清司知事を交えた３者で、県内中小企業の現状と先行きについて語り合った。産業イノベーション、海外展開、人材育成など企業を取り巻くさまざまな課題をテーマに、それぞれが独自の考えを披露。鈴木社長は「アジアでは、ジャパンブランドがとても高く評価されている。我々は自信を持って売っていくべきだ」と訴えた。会場には約１３０人が集まり、３者の討論へ熱心に耳を傾けた。

昨年10月の知事懇。左から鈴木川金ホールディングス社長、上田知事、増田埼玉産業人クラブ会長

優秀な経営者の表彰も実施

このほか同クラブでは、県内の優秀な企業経営者をたたえる「埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」を毎年度実施している。６回目を迎えた昨年４月の表彰では、埼玉県知事賞をチャレンヂ（狭山市）の中村敬佳社長、埼玉産業人クラブ会長賞をシバサキ（秩父市）の柴崎敏広社長、特別賞をジャスト（さいたま市大宮区）の本多均社長、ぎょうざの満洲（坂戸市）の池野谷ひろみ社長、松本興産（小鹿野町）の松本直樹社長が受賞。上田知事による記念品贈呈の後、受賞各者はプレゼンテーションで自社のビジネスモデルをＰＲした。

同表彰制度は「日本一の中小企業・ベンチャー企業立県宣言」を打ち出している埼玉県の産業を支援するため、04年に創設。審査委員会は、ドラッカー学会代表の上田惇生氏をはじめ埼玉県産業労働部長や県内の有識者らで構成している。

同クラブでは、地域や共通目的によって集まった各部会の活動も活発だ。埼玉ビジネス研究会（小原敏治会長＝小原歯車工業社長）は、次世代を担う若手経営者の組織。さまざまな企業を訪れて先輩経営者からノウハウを学ぶ訪問会を定期開催している。昨年11月には日本伸管本社工場（新座市）を訪問し、参加者は同社会長で同クラブ副会長の細沼哲夫氏による講演に耳を傾けた。細沼氏は、約40年間の経営者生活で経験してきた成功や失敗の事例を紹介。「事業が好調な時ほど気が緩んで、失敗に気付きにくい」と後輩に対して注意を喚起した。

埼玉ビジネス研究会の訪問を受け熱心に説明する細沼日本伸管会長（手前右）

一方、ＮＩＴＥＣ埼玉産学交流会（長谷川勉会長＝長谷川鉄工所社長）は、日本工業大学の教授と企業経営者の交流を深める活動を展開している。昨年12月の「第28回研究現場訪問シリーズ」では、同大学ものづくり環境学科に所属する丹沢祥晃准教授の研究室を視察した。丹沢准教授は、自然エネルギーを利用した発電システムが専門分野。参加した会員らは、キャンパス内の温泉熱利用発電実験装置や風洞実験場などを熱心に見学した。

「実用化にはどれくらい費用がかかるのか」などと関心を示す声が相次いだ。

長谷川会長のモットーは、「堅苦しくならず、産学が和気あいあいと交流する」こと。このため同交流会は、研究現場訪問のみならず、ゴルフ大会や懇親旅行など会員が気軽に参加できる場も積極的に設けている。「フランクな会話が、共同研究開発のきっかけになることもある」（長谷川会長）との考えに基づく活動方針だ。

事業家の「止まり木」として

増田　文治氏
（マスダック社長）

―約２５０会員と、全国では最大の組織です。

「埼玉県産業界の活性化を目的に、産業界をけん引する会員企業が一丸となってさまざまな歴史を刻んできました。首都圏の巨大マーケットに隣接する埼玉県は東日本の結節点であり、自動車、機械、食品、医薬品といった各業界がそれぞれ力をもっており産業界に貢献しているのと同時に、世界トップレベルの技術力を武器に国内外で勝負している優良企業が多く存在している特徴があります。また、産業界と行政、金融、大学の横のつながりが強固で、さまざまなイノベーションがしかけられるポテンシャルを持っている地域といえます」

―情報共有や企業連携などの交流が盛んに行われています。

「埼玉産業人クラブは毎年、新年賀詞交歓会や４月の定時総会、県内の優秀な企業経営者を表彰する『埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰』、10月の上田清司埼玉県知事を招いた埼玉県産業振興懇談会など、経営課題の解決や、ビジネスのヒント、企業間連携などビジネスチャンスを拡大する行事を多数開催しています。日本工業大学と埼玉産業人クラブ会員企業による産学交流組織「ＮＩＴＥＣ埼玉産学交流会」、東京電機大学との産学交流組織「ＴＤＵ産学交流会」の活動も盛んで、産学連携を深める有意義な場となっています」

―増田会長は２０１０年４月の就任です。

「自分自身、埼玉産業人クラブの行事に参加させていただき、埼玉県には本当に優れた企業がたくさんあるとあらためて実感しました。経営者の方々も魅力ある方たちばかり。同時にまだまだ知られざる魅力ある企業もたくさんあると思います。会長としてそれらの企業を掘り起こし、多くの方々に埼玉産業人クラブのファンになっていただくとともに、埼玉産業界をより一層盛り上げていきたいと考えています」

―今後の活動についての考えを聞かせてください。

「発足から47年の長い歴史の中で、埼玉産業人クラブの伝統を受け継ぎ守っていくのと同時に、マンネリ化せずに中身を魅力的なものにするためにも良い意味で企画を進化させていく必要があるのではないかと考えております。また、これからも健全な肉体と精神で真摯に事業に取り組んでいる人たちの『止まり木』としての役割を担っていきます。埼玉産業人クラブでの活動を企業経営に役立ててもらうとともに、産業界に起こるさまざまな課題を研究したり、解決したりしながら、企業間で手を取り合い発展できるよう、微力ながら８代目会長として埼玉県経済のためにまい進して参ります」

会長インタビュー

特集・挑戦する日本の経営者たち

概　要

◇１９６４年（昭39）４月３日設立　会員数　２４７人
◇事務局所在地　＝　さいたま市浦和区岸町７の12の４、ニチモビル浦和（日刊工業新聞社さいたま総局内）
◇電話　＝　０４８・８７２・２２８１

〔埼　玉〕 精密焼結部品「ピースロン」（商品名）
代表取締役 大竹功一
平和産業株式会社
〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵4-21-11
TEL.048(861)7401 FAX.048-861-7400
URL：http://www.peace-lon.co.jp

〔埼　玉〕 粉末冶金製品の製造・販売
ポーライト株式会社
代表取締役会長 菊池勇
〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町2-121
TEL.048(653)2221 FAX.048(653)2349
URL：http://www.porite.co.jp

〔埼　玉〕 変・減速機等の製造、販売
取締役社長 栄野隆
株式会社 日立ニコトランスミッション
〒331-0811 さいたま市北区吉野町1-405-3
TEL.048(652)6969 FAX.048(663)4948
URL：http://www.hitachi-nico.jp

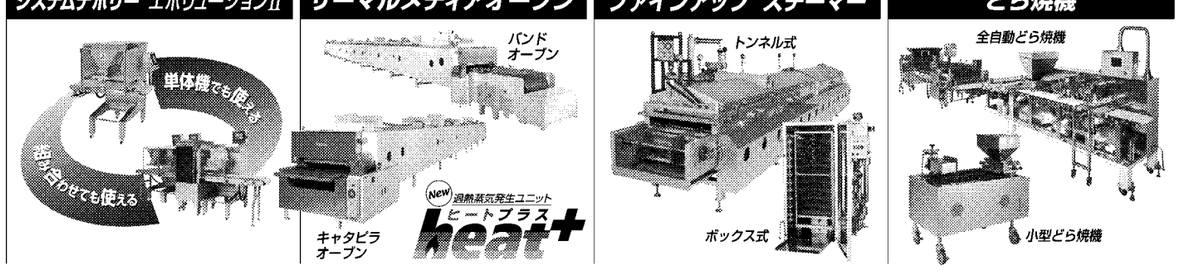
〔埼　玉〕 光学ガラス・光ファイバー製造
代表取締役社長 住田利明
株式会社 住田光学ガラス
〒330-8565 さいたま市浦和区針ヶ谷4-7-25
TEL.048(832)3165㈹ FAX.048(824)0734
URL：http://www.sumita-opt.co.jp

〔埼　玉〕 ステンレス鋳物
代表取締役社長 伊藤高太郎
イトコー株式会社
〒332-0011 埼玉県川口市元郷3-22-2
TEL.048(224)8401 FAX.048(224)2070
URL：http://www.itokoh.co.jp

〔埼　玉〕 ホーニング加工専門企業
代表取締役 熊代稔
有限会社 東京ホーニングサービス
〒334-0062 埼玉県川口市榛松１９０７
TEL.048(284)5006 FAX.048(282)0061
URL：http://www.tokyo-honing.co.jp

〔埼　玉〕 自動車　オートバイ用各種部品
代表取締役社長 飯野耕司
株式会社 飯野製作所
〒330-0805 埼玉県さいたま市大宮区寿能町1-135
TEL.048(641)6071 FAX.048(643)4541
URL：http://www.iinoseisakusho.co.jp

〔埼　玉〕 真空熱処理・浸炭焼入
白岡冶金株式会社
代表取締役 鈴木泰
〒349-0203 南埼玉郡白岡町下大崎869-1
TEL.0480(93)0234 FAX.0480(92)7253
URL：http://www.shiraokayakin.co.jp/

そのお菓子づくりを、もっと美味しく、新しく。 MASDAC
高い生産能力。使いやすく、優れた安全性 システムデポリー エボリューションⅡ
過熱蒸気で品質向上・生産性アップ・省エネ効果 サーマルメディアオーブン
セイロ蒸しの再現 ファインアップ スチーマー
選べる充実のラインナップ どら焼機


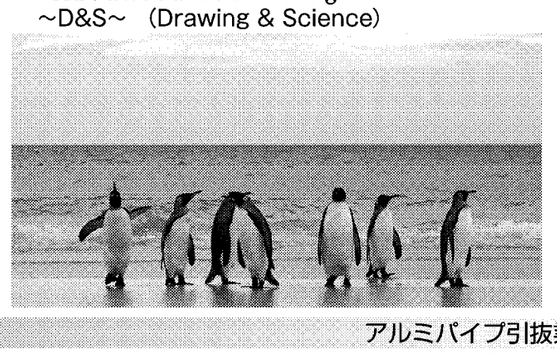
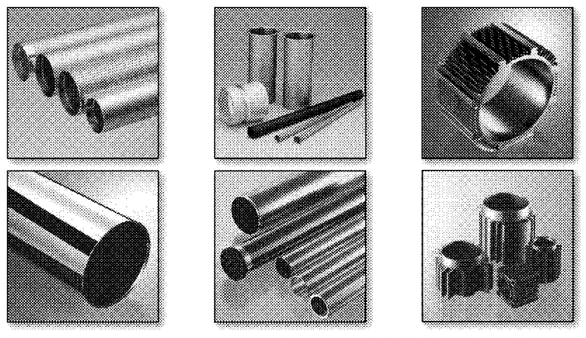
株式会社マスダック 本社・工場／〒359-1147 埼玉県所沢市小手指元町1-27-20 ☎04-2948-0161 ［URL］http://www.masdac.co.jp ［E-mail］info@masdac.co.jp

〔埼　玉〕 中小企業診断士
代表取締役 高澤彰
有限会社 タカザワ企画
〒330-0052 埼玉県さいたま市浦和区本太2-12-22-303
TEL/FAX.048(883)8074
URL：http://members.jcom.home.ne.jp/takazawakikaku/

〔埼　玉〕 ネジ製造業
代表取締役 後藤順雄
株式会社 ゴトウネジ
〒340-0811 埼玉県八潮市二丁目４７０
TEL.048(996)9021㈹ FAX.048(995)6975

〔埼　玉〕 住まい価値創造企業
代表 大久保浩成
ポラスグループ
〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷1-21-2
TEL.048(989)9111㈹
URL：http://www.polus.co.jp/

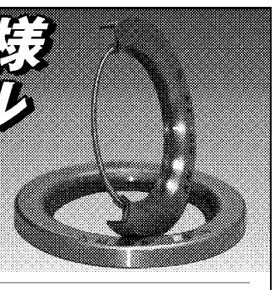
〔埼　玉〕 工業用ゴム製品の製造メーカー
代表取締役社長 杉本賢次
株式会社 丸一ゴム製作所
〒342-0027 埼玉県吉川市三輪野江1009-1
TEL.048(982)0483 FAX.048(982)0498
URL：http://www.maruichirubber.co.jp/

小さな世界一企業をめざす
NISSIN Advanced Technologies
～D&S～ (Drawing & Science)
アルミ管引抜を科学する“ニッシン”は
南極で使われた氷掘削用パイプを製造し
地球環境の変動の解明に貢献しています


アルミパイプ引抜業界のトップメーカー
日本伸管株式会社
本社・工場・アルマイト工場／〒352-0005 埼玉県新座市中野1-10-22 TEL 048-477-7331 FAX 048-477-7888
白河工場／〒961-8061 福島県西白河郡西郷村小田倉字大平176 TEL 0248-25-2141 FAX 0248-25-0593
http://www.nihonshinkan.co.jp

大型特装車から大型鋼材まで
塗装はお任せ下さい。

大型焼付塗装ブース
全長16mの大型塗装焼付ブース完備で、様々な大型特殊車輌や大型鋼材の塗装が可能。
遮熱・断熱塗装
衛星放送中継車や健康診断車両など車内作業が多い職種や、精密機械を積んだ車両に!
屋根におすすめ!
衛星放送中継車の施工事例
事務所／工場／スチール製屋根にも塗装可能!
住友スリーエム特約加工販売代理店
株式会社デサン
http://www.dessin.co.jp
◆本社/大宮営業所
〒331-0815 埼玉県さいたま市北区大成町4-140
TEL 048-651-1881 FAX 048-664-7276
◆蓮田工場
〒349-0137 埼玉県蓮田市大字高虫1358-1
TEL 048-767-1077 FAX 048-766-6070

〔埼　玉〕 めっきの可能性をあらゆる素材・産業へ
代表取締役社長 眞子岳志
株式会社 真工社
〒335-0032 埼玉県戸田市美女木東2-2-6
TEL.048(421)9833 FAX.048(421)8009
URL：http://www.shinkosya.co.jp/

シールの王様
→KMシール
KMSEAL㈱
酸・アルカリ有機溶剤OK!!
究極のテフロンリップシール

ゴムとシールの総合加工メーカー
共立産業株式会社
本社 〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所2-6-2 TEL：048-861-0261㈹
静岡工場 〒421-0421 静岡県牧之原市細江９６８-１ TEL：0548-22-5641㈹
URL：http://www.kyoritsusangyo.co.jp